

令和元年度 第1回環境審議会 会議概要

【日 時】

令和元年11月18日(月) 14:00~15:40

【場 所】

市役所東別館9階 特別中会議室

【出席委員】

有山委員、梅澤委員、徳田委員、富安委員、二宮委員、根建委員、日高委員
平委員、三原委員、宮部委員、宮本委員、村山委員

【次 第】

- 1 開会
- 2 報告等
 - (1) 各計画の位置づけ
 - (2) 鹿児島市域の2016(平成28)年度温室効果ガス総排出量について
 - (3) 平成30年度実績及び令和元年度取組について
 - ①再生可能エネルギー導入促進行動計画
 - ②生物多様性地域戦略
 - ③地球温暖化対策アクションプラン
 - ④第二次環境基本計画
- 3 その他
- 4 閉会

【議事概要】(○:委員、●事務局)

<鹿児島市域の2016(平成28)年度温室効果ガス総排出量について>

○二酸化炭素の排出量に換算する前の、例えば、電気の使用量などの生データはあるのか。

●電気の使用量については、九州電力のデータを用いて積算している。

○計算がとても複雑なので、実際の省エネの効果がどれくらいだったのか、例えば、電力使用量が減ったのか、それとも、電力使用量は変わらないけれども計算方法が変わったために、見かけ上、減ったのか。

●全体的な排出量で、排出係数の影響によるものと、省エネなどその他の影響によるものを比較すると、排出係数の影響の方が大きくなっている。

<平成30年度実績及び令和元年度取組 ①再生可能エネルギー導入促進行動計画>

○公共施設への太陽光発電システムの導入で、いくつかの学校に同システムを設置している。学校は避難所に指定されていることが多い。以前は、災害時に太陽光発電システムの電力を使うことができなかったと思うが、現在はどうか。

●現在は、学校(8校)を含めた11の公共施設で、非常時に電力を使うことができる。

<平成30年度実績及び令和元年度取組 ②生物多様性地域戦略>

○外来生物であるミシシippアカミミガメは、環境未来館でも展示されているが、もし飼えなくなったカメについては、相談すれば引き取ってもらえるところはあるのか。

- ミシシippアカミミガメや、アライグマなどもそうだが、引き取ってくれるところはない。環境省も飼っている動物については、最後まで飼養をしていただきたいと呼びかけている。

<平成 30 年度実績及び令和元年度取組 ③地球温暖化対策アクションプラン>

○草木類の資源化ルートの確立の検討を行っているということだが、資源化ルートの目途がついたのか。

- 草木類は、年に何千トンか収集されるが、収集した後の受け入れ先が見つかった訳ではない。実際チップ化できそうな枝などは約 2 割であることが昨年、組成調査をして分かった。全市的に、どこまで広げるか、今後検討していきたい。

○木質バイオマス発電には、莫大な量の木材を要するが、県外などから材料を調達するとかなりのコストがかかる。いかに材料を調達するかが重要である。

- 家庭用ごみが原料になれば非常に有効だと思うが、木質バイオマスの材料にも基準があり、家庭用ごみはその基準を満たさないようである。

- (鹿児島市が促進する木質バイオマス熱利用で、)材料となるチップの工場が鹿児島市内にないが、日置市やいちき串木野市にはある。また、ペレットに関しては県内に工場はないところである。

<平成 30 年度実績及び令和元年度取組 ④第二次環境基本計画>

○環境基本計画に関しては、おおもとに、SDGs を意識していると思うが、計画のどの部分が、SDGs のどの分野に対応しているのか、また、環境未来館のレジュメに関しても普及啓発をされるのか、鹿児島市として SDGs を意識していることをもっと打ち出して良いのではないかと。

- SDGs については、環境未来館のリニューアルでもクローズアップして取り上げる予定である。また、SDGs に関する大人向け・こども向けの講座も実施する。